

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2016年11月調査結果-

調査要領

- 調査期間 2016年11月8日～30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 101社
- 回収率 50.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の11月の状況を見ると業況DIは、前月より4.4ポイント回復の▲12.9。

2014年4月以来32ヶ月連続マイナス水準で推移している。

業種別では、建設業、製造業、卸売業、小売業の4業種において回復した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは▲11.9と当月に比べ1.0ポイント回復を見込んでいる。

業種別でみると、建設業、製造業で悪化が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2016年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2017年2月
業況	▲23.0	▲23.1	▲15.4	▲15.4	▲17.3	▲12.9	▲11.9
売上	▲21.8	▲20.0	▲14.5	▲14.5	▲13.4	▲ 6.0	▲ 9.9
採算	▲29.1	▲16.2	▲18.3	▲18.3	▲14.4	▲11.8	▲ 9.9
仕入単価	▲21.1	▲18.3	▲13.5	▲13.5	▲20.2	▲21.8	▲18.8
従業員	28.5	31.4	29.8	29.8	35.6	24.7	23.7
資金繰り	▲ 8.3	▲ 5.7	▲ 1.9	▲ 1.9	▲ 5.8	▲ 7.0	▲10.9

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2016年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	先行き見通し 12～2017年2月
建設	▲18.2	▲20.8	▲25.0	▲20.8	▲16.0	▲13.6	▲ 9.1
製造	▲ 7.7	▲14.3	▲ 3.9	▲12.0	▲ 8.0	▲ 7.4	0.0
卸売	▲42.3	▲40.0	▲19.0	▲31.9	▲20.0	▲16.7	▲22.2
小売	▲33.3	▲29.4	▲25.0	▲28.6	▲53.3	▲25.0	▲31.2
サービス	▲11.8	▲13.4	▲ 5.9	▲27.7	0.0	▲ 5.5	▲ 5.6

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	・冬期を迎え、受注工事が減少気味。また降雪等で作業能率が落ち採算が多少悪くなっている。全体的には昨年同時期より収支は減となる様子。 ・前年同月に比べ受注減。公共工事についても競争率が上がるなど中々入札が取れない。冬に受注があり今後改善に期待。 ・市内のガス管入れ替え作業が終了し受注減。今後においても好材料は見当たらず状況は変わらない見込。 ・冬期から受注が出てきたものの、先行き見通し不透明。
製造業	・官公庁の予定物件が夏場の災害復旧に予算を振り返られ、工事が中止になり結果として受注減。 ・既往取引先の受注減少を新規先等でカバーできていない。前年実績を確保するのが難しい状況である。マーケットが縮小している中で、同業他社との競合が激化しており、少なからず価格に影響している。11・12月と繁忙期であり、平常月よりは受注が増えるものの前年実績の確保は予断を許さない。 ・台風等天候不順により農作物の価格が異常に上昇。価格改訂を実施するも限度あり。 ・採用のコスト増加など、人事管理上の変化が見られる。中長期戦略の一部として強化を要する。 ・限られた人材をやりくり
卸売業	・今期決算（7月～）売上・利益とも前年比を上回っている。今後において好材料は余り見当たらないが現状で推移しそう。 ・前年度から見れば売上は伸びているが、売上に比例するほどの利益には転換出来ていない。 ・観光地ホテルの営業推進は増加傾向でよい傾向。しかし、ホテルのオーナー会社の外国資本への変化があり、購入段階で価格が見直されインフレ傾向なのに価格競争を強いられ購買難儀となる。 ・灯油については価格の上昇があったものの、小幅な動きとなっており今後も同水準で推移すると見込まれる。
小売業	・昨年より約1カ月以上早く雪模様となりアウター（防寒着）を購入するお客様の来店が多かった様に感じる。一着単価が高額のため前年売上が10%伸びている。お客様の購買意欲が高まっている時にしっかり販売していきたい。 ・仕入れ価格の上昇。人手不足。 ・稀に見る11月での降雪の影響により、除雪費負担増、売上利益のマイナス影響。人手不足によるサービスレベルの低下。仕入単価上昇（農産・青果）による単価アップと水産物量不足による売上・粗利への影響。 ・毎月売上は悪化している ・従業員の不足が補えない
サービス業	・技術者の高齢化。想定外の積雪により作業の遅れと除雪等に掛かる経費負担増。 ・夜の時間帯の客数が激減している。最低賃金が上がり、材料費も上がり(特に野菜)利益幅が極めて小さい。 ・市場車輛台数減少、車輛販売減少、板金・塗装減少。 ・インバウンド減、新規ホテル競合もあり苦戦。単価下落で前年売上比マイナス5%見込。 ・雪が例年より早く降り、悪天候の日が多かったためか人出が鈍っている。また野菜の値上がりが続き、忘年会シーズンに向け利益減が心配。 ・8・9月の台風の影響でホテルはキャンセルが多く売上減となった。10・11月は観光客も減り始め、道北・道東のホテルは厳しい状況。当社は前年比減にならぬよう病院寝具、老人ホームの新規営業、ホームクリーニングにて前年比増となった。11・12月も厳しいですが全力を挙げ頑張る。 ・降雪期に入り、一層の安全運行に努めます。

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	売上 DI18.9 ポイント回復、採算 DI5.8 ポイント回復、仕入単価 DI5.3 ポイント回復、資金 DI ほぼ横ばい、従業員 DI6.5 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 2.4 ポイント回復となった。業種別では、設備その他 16 ポイント悪化、建築横ばい、総合工事 18 ポイント回復となった。冬期を迎え受注工事が減少気味。降雪等で作業能率が落ち採算が多少悪くなっているとの声も寄せられている。
製造業	売上 DI8.6 ポイント悪化、採算 DI11.4 ポイント悪化、仕入単価 DI7.4 ポイント悪化、資金 DI4.0 ポイント回復、従業員 DI24.3 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 0.6 ポイント回復となった。業種別では、食料品 17 ポイント、印刷出版 7 ポイント悪化、家具木材横ばい、金属窯業他 20 ポイント回復となった。採用のコスト増加など、人事管理上の変化が見られる。中長期戦略の一部として強化を要するとの声も寄せられている。
卸売業	売上 DI9.4 ポイント回復、採算 DI4.4 ポイント回復、仕入単価 DI1.7 ポイント回復、資金 DI6.1 ポイント悪化、従業員 DI2.2 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 3.3 ポイント回復となった。業種別では、繊維 50 ポイント、食料品 2 ポイント悪化、その他横ばい、機械鋼材 33 ポイント回復となった。前年度から見れば売上は伸びているが、売上に比例するほどの利益には転換出来ていないとの声も寄せられている。
小売業	売上 DI27.8 ポイント回復、採算 DI21.7 ポイント回復、仕入単価 DI5.3 ポイント悪化、資金 DI1.7 ポイント回復、従業員 DI2.0 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 28.3 ポイント回復となった。業種別では、衣料品、その他で横ばい、食料品 67 ポイント、自動車 50 ポイント回復となった。昨年より約 1 ヶ月以上早く雪模様となりアウター（防寒着）を購入するお客様の来店が多かったように感じる。一着単価が高額のため前年売上が 10%伸びている。購買意欲が高まっているときにしっかり販売していきたいとの声も寄せられている。
サービス業	売上 DI5.9 ポイント悪化、採算 DI0.2 ポイント悪化、仕入単価 DI7.0 ポイント悪化、資金 DI5.3 ポイント悪化、従業員 DI9.4 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 5.5 ポイント悪化となった。 業種別では飲食 17 ポイント、運送 33 ポイント回復、クリーニング、その他、整備業で横ばい、ホテル 25 ポイント悪化となった。夜の時間帯の客数が激減している。インバウンド減、新規ホテル競合もあり苦戦。